

事 務 連 絡  
平成 29 年 1 月 20 日

関係団体の長 殿

広島労働局労働基準部  
健康安全課長

積雪・凍結による転倒災害等防止について

平素より、広島労働局の行政推進に当たり、格別の御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

平成 28 年の広島県内における労働災害の発生状況は、12 月末現在で、休業 4 日以上の死傷災害件数は 2,690 件と前年同期（2,687 件）微増しておりますが、このうち転倒による災害は、604 件と全体の約 22.5%を占め、前年同期（548 件）を 10%以上も上回っています。

また、1 月 15 日には、12 年ぶりに広島市内で 10 cm 超えの積雪を記録するなど、冬期における積雪や凍結を原因とした転倒災害、交通労働災害、建物屋根等からの墜落・転落災害等の多発が懸念されます。

転倒災害は、天候の影響が大きいことから、気象情報の収集や早めの積雪・凍結対策を行うとともに、労働者が積雪・凍結等に留意した転倒災害等防止に取り組むことが重要です。

つきましては、当局において、別添リーフレットの「職場での転倒災害を減らしましょう！」を作成しましたので、これをご利用いただき、貴団体の広報媒体を通じて、冬期における積雪・凍結による転倒災害等防止等の周知啓発に御協力いただきますようお願いいたします。

